

県内農地土壌の放射性物質調査の結果がまとまりました。

県では、平成23年から春の作付けの前に、県内5地点で農地土壌の放射性物質について定点調査を行っており、このたび、本年の調査結果がまとまりましたので公表します。

本年4月の調査結果では、放射性ヨウ素は不検出、放射性セシウムは土壌1キログラム当たり11～52ベクレルでした。

記

1 調査方法

(1) 調査対象核種 放射性セシウム、放射性ヨウ素

(2) 土壌の採取方法

調査ほ場内5か所から、土壌採土器を用いて表土から15cmの深さまでの土壌を筒状に採取し、混和して分析試料を作製

(3) 分析機関

一般財団法人新潟県環境衛生研究所

2 調査結果

単位：ベクレル/kg乾土

採取地点 市町村 (地区等)	地 目	平成26年4月調査				(参考)平成25年4月調査				
		採取日	放射性セシウム			ヨウ素131	放射性セシウム			ヨウ素131
			セシウム134	セシウム137	計		セシウム134	セシウム137	計	
新発田市 (新発田)	田	4/15	検出されず (2.6未満)	21	21	検出されず (2.7未満)	検出されず (2.8未満)	18	18	検出されず (4.1未満)
新潟市 (西蒲区)	田	4/11	検出されず (2.5未満)	13	13	検出されず (4.2未満)	検出されず (2.5未満)	18	18	検出されず (3.7未満)
長岡市 (長岡)	田	4/10	検出されず (2.0未満)	11	11	検出されず (3.4未満)	検出されず (2.1未満)	12	12	検出されず (3.3未満)
南魚沼市 (六日町)	田	4/15	13	39	52	検出されず (2.3未満)	22	48	70	検出されず (3.1未満)
上越市 (上越)	田	4/10	検出されず (2.3未満)	13	13	検出されず (3.5未満)	検出されず (2.4未満)	12	12	検出されず (4.7未満)

注1：測定方法は、ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

注2：平成26年4月調査と平成25年4月調査は、いずれも検出限界値をセシウム134、セシウム137、ヨウ素131ごとに5ベクレル/kg乾土として分析。検出限界値(表中の括弧内)は、測定において分析種が検出できる最小値であり、放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体毎に変動する

注3：「検出されず」は、検査対象の核種毎に検出限界値未満であることを示す

【本件に関するお問い合わせ先】

農産園芸課 課長補佐 吉川
電話 025-280-5809
内線 2922